

ET・IoT Technology NAGOYA 2020 開催報告

2020.2.5-6
吹上ホール(名古屋市中小企業振興会館)

ものづくり名古屋で最新の組込み×エッジテクノロジーを紹介

2月5日(水)、6日(木)に名古屋市・吹上ホール(名古屋市中小企業振興会館)で、協会主催のET・IoT Technology NAGOYA2020が開催された。TECH Biz EXPO(主催:名古屋国際見本市委員会、名古屋産業振興公社)、フロンティア21エレクトロニクスショー(主催:中部エレクトロニクス振興会)との同時開催としては、今回で2回目となる。

自動車産業をはじめとした“ものづくり”の一大拠点である名古屋圏らしく、組込み関連はもちろん、電気・電子系、機械系、部品系、製造装置系などの基盤技術が一堂に会した展示会となった。初日の開場前から多くの来場者が吹上ホールの外に列をつくり、中部圏の技術者や企画担当者の関心の高さを窺わせた。出展規模は137社・団体と2019年を上回った。製品やソリューションの展示と30以上の専門セミナーにより、2日間の会期中に1万201人の来場者を集めた。

ET・IoT展では、IoTやエッジ、組込みAI、セキュリティ、開発・設計に関連したソリューションや製品の展示のほか、それぞ

れ3件の基調講演と技術本部による専門セミナーで、JASAならではの情報発信を行った。展示会場で熱心に説明員の話に耳を傾ける来場者や、旬な話題を取り上げた基調講演や専門セミナーで熱心にメモを取る受講者の姿が印象的だった。

基調講演では、(株)DeepXの那須野薫代表取締役、エヌビディア合同会社の齋藤弘樹事業部長、Idein(株)の中村晃一代表取締役が登壇し、AI関連の最新動向を紹介した。いずれも多くの出席者が会場を埋め、旬の情報に聞き入っていた。

このほか好評を博したのが、主催者企画の出席者向けネットワークイベント「中部地域自動車業界技術者との情報交換会」である。トヨタ自動車をはじめ、デンソー、アイシン精機、豊田自動織機、東海理化の第一線に立つ技術者が、電動化や自動運転といったCASE関連の動向と将来展望、現状の課題について講演するとともに、出席者の質問に答えた。他では聞けないディープな話題の数々は、珠玉の情報になったのは間違いない。

ネットワークイベントの後には名刺交換

DeepX
那須野 薫 氏



エヌビディア
齋藤 弘樹 氏



Idein
中村 晃一 氏



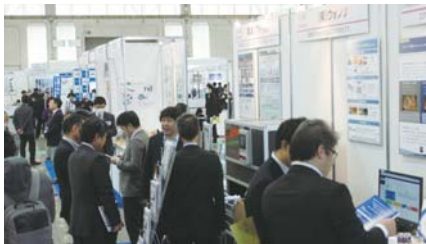
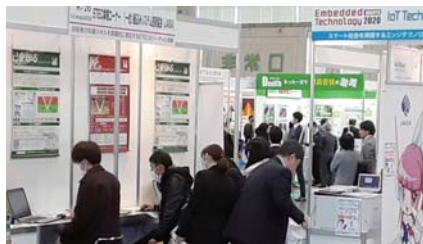
会(懇親会)が催された。トヨタグループの講演者との情報交換や人脈作りの場として、さらに盛り上がりを見せた。

JASAでは、組込み×エッジテクノロジー総合展として「ET・IoT Technology」を横浜(11月)、大阪(7月)、名古屋にて開催している。最新情報は公式サイトをご覧ください。

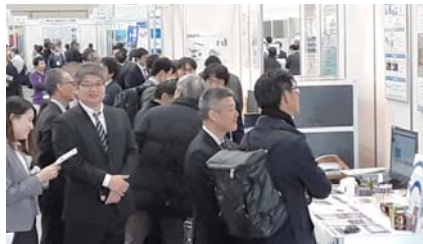
<https://www.jasa.or.jp/expo/>



JASA中部支部・青木義彦支部長も出席した開会式の様子(左)。
JASAブースでは協会活動とETECをアピール(右)。



25社・団体が参加した出展ブースの様子。展示テーブルスタイルのコンパクトな設計に、各社から“今年のイチオシ”となる最新のソリューションが展示紹介された。



セミナー会場の様子。終了後は質問など講師と積極的に接する聴講者が多く、貴重な交流時間となっていた。JASAでは3つの委員会・WGが研究成果を発表、多くの聴講者で賑わった。